

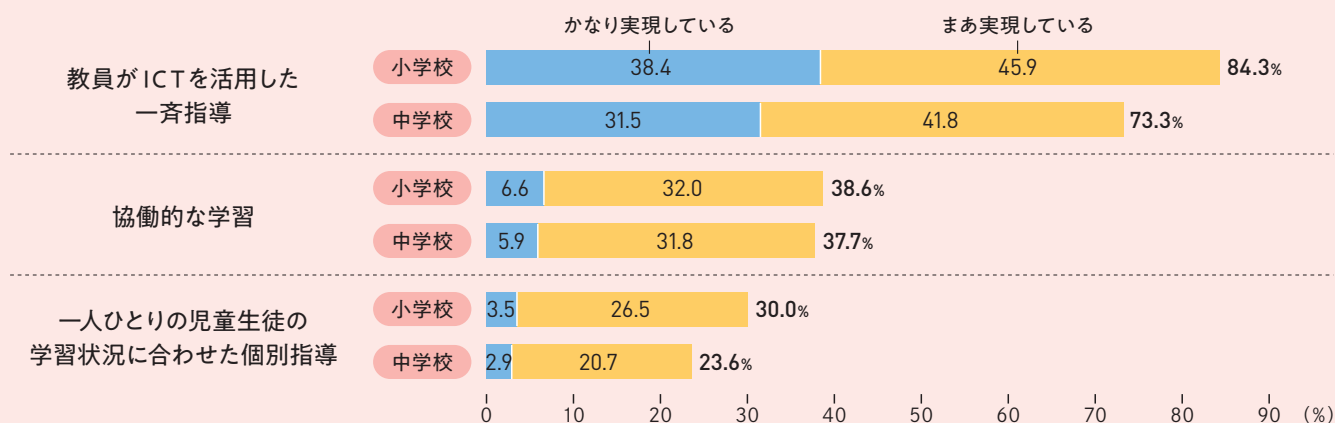
子どもの学びを深めるICT活用 授業実践事例集

「GIGAスクール構想」によって全国の小・中学校でICT環境が整備され、2021年度から本格的な端末利用が始まった。全国の学校や教育委員会は「個別最適な学び」や「協働的な学び」を深めるために、ICTをどのように活用すればよいのか、全教員がICTを効果的に活用するために必要な支援とは何かを検討し、様々な工夫をしている。

本号では、全国の6つの小・中学校の実践事例と、その学校を支援する教育委員会のICT活用推進施策を通じて、子どもの学びを深めるICT活用を掘り下げていく。

図1 小学校・中学校での「GIGAスクール構想」の実現度

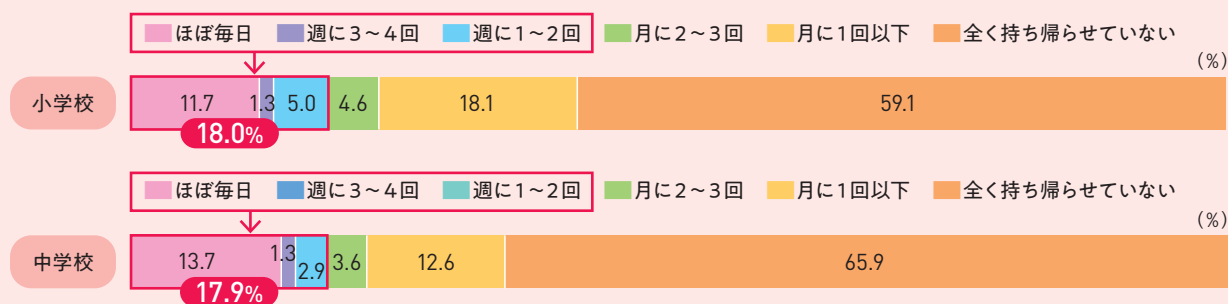
Q. 1人1台端末を活用した学習指導について、あなたは現在どれくらい実現していると思いますか。



注) 小学校教員 2,125 人、中学校教員 2,264 人が回答。

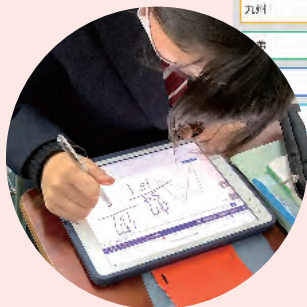
図2 小学校・中学校での1人1台端末の持ち帰りの頻度

Q. 普段（長期休業期間を除く）、端末をどれくらいの頻度で家に持ち帰らせていますか。



注) 1人1台端末を導入済みと回答した小学校 94.2% (2,001人)、中学校 93.7% (2,122人) のみを分析。

※図1・2とも、ベネッセ教育総合研究所「小中学校の学習指導に関する調査 2021」（2021年8～9月実施）を基に編集部で作成。



教員のICT活用状況について、ベネッセ教育総合研究所は2021年8～9月、全国の小・中学校の教員を対象に調査を行った。1人1台端末を活用した学習指導の実現度*を見ると、7～8割の教員が一斉指導にはICTを活用していた(図1)。一方、「協働的な学習」でICTを活用している教員は、小・中学校ともに4割弱、「一人ひとりの児童生徒の学習状況に合わせた個別指導」での活用は、小学校が3割、中学校が2割強にとどまった(図1)。「協働的な学び」や「個別最適な学び」においても、ICTを効果的に活用することで、子どもの学びが深まるよう、教育委員会には、実践事例を広めるなどの支援が求められる。

同調査の段階で、端末の家庭への持ち帰りを日常的に行っているのは、小・中学校とも2割以下だった(図2)。家庭では、ドリル学習のほか、調べ学習、レポート・発表資料の作成にも活用されている。端末の持ち帰りによって、「個別最適な学び」が図られるとともに、家庭で調べ学習などの授業準備をすることで、授業中に「協働的な学び」を行う時間を確保しやすくなる。各学校が端末の持ち帰りを実施しやすくなるよう、教育委員会としては、モバイルルーターの貸し出しや情報モラル教育の資料提供などの支援が期待される。

* 実現度は、「かなり実現している」と「まあ実現している」の合計。

VIEWnext 2021 臨時増刊号

Contents

- 3 **事例1** 東京都 新宿区立富久小学校 とみひさ **Web VIEWn-express**
作品の相互鑑賞で協働学習ソフトを活用
子どもの思考や表現の幅が広がる
協働学習ソフト
- 7 **事例2** 東京都 調布市立布田小学校 ふだ
動画で発表後、授業支援ソフトを活用し、
低学年から対話的な学びを積み重ねる
授業支援ソフト
- 11 **事例3** 京都府 福知山市立日新中学校 にっしん
授業中も夏季休業中もデジタルドリルを活用
学力調査とも連携し、主体的で個別最適な学びへ
デジタルドリル
- 15 **事例4** 大阪府 枚方市立第四中学校 ひらかた **Web VIEWn-express**
教科横断でICTを活用した授業を
見合い、授業の質を高め合う
授業支援ソフト **協働学習ソフト**
- 19 **事例5** 兵庫県 芦屋市立打出浜小学校 うちではま
協働学習ソフトで多角的・多面的に
思考が広がり、学習意欲も高まる
授業支援ソフト **協働学習ソフト** **デジタルドリル** **ICT支援員**
- 23 **事例6** 福岡県 福岡市立筥松小学校 はこまつ
デジタルドリルの学習履歴を基に、
迅速な授業改善を実現
デジタルドリル

下記のマークは、各記事内で活用事例を紹介しています。

授業支援ソフト **協働学習ソフト** **デジタルドリル** **ICT支援員**

<https://berd.benesse.jp>

本誌記事は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでも、**電子ブック**や**PDF**でご覧いただけます。

Web VIEWn-express がついている記事は、
同ウェブサイトでも、**関連記事**や**動画**をご覧ください。

印刷製本/研精堂印刷(株) 編集協力/(有)ペンダコ 執筆協力/二宮良太、長谷川 敦
撮影協力/竹内洋平、ヤマグチイッキ
※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。
※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。
©Benesse Corporation 2022